



大学機関概要

- 代表者 / 齋藤和彦
- 所属 / 長岡造形大学
- 専門分野 / プロダクト&モビリティデザイン
- Email / saito@nagaoka-id.ac.jp
- 担当者 / 齋藤和彦 または地域協創課

長岡造形大学 地産地消型モビリティ

TEL:0258-21-3901/ FAX:0258-21-3312

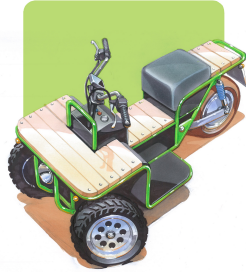
<https://www.nagaoka-id.ac.jp>

〒940-2088

長岡市千秋4-197

こんな組織と繋がりたい

- モビリティ制作に興味のある企業様
- モビリティ販売に興味のある企業様



PR 販路 産学 情報 人材 地域でつくるモビリティ

▶研究内容の特徴

地域（長岡）で創り、地域（長岡）で乗る地域（長岡）のためのモビリティです。金属加工や鉄工業など長岡市の産業の強みを活かし、その地域の風土・暮らし・景色に溶け込む電動モビリティを創りました。「気楽な農耕車」をコンセプトに2015年より研究をすすめ、2018年には原付一種のナンバーを取得、公道走行も可能です。2020年この取り組みに対しグッドデザイン賞を受賞しています。現在、長岡ニュータウンを中心に実証走行を行なっています。

▶技術アピール・マッチングニーズ

電動車両用のモーターやバッテリーは市販のものを使用していますが、フレームやサスペンションなどの骨格部分はこのモビリティの専用に設計し図面化・部品の試作は長岡を中心に県内企業で制作しました。組み立ては学内の工房で行っています。前2輪後1輪の3輪車ですが原付一種の規格に準拠した乗り物となっています。アクティブシニアの方が日常の足として、買い物や趣味のための移動に最適なものとなっています。3輪なので停止時に足をつく必要もなく、転倒リスクも少なくなっています。また積雪時にも走行が可能です。こんな長岡にぴったりのモビリティを今後も研究発展させていきたいと考えています。

ココがスゴい！

地域で創り、地域で乗る、
地域のための電動モビリティ

- 1. 電動モーターとバッテリーの搭載位置を確保し、重心を低く抑える。
- 2. フレームやサスペンションなどの骨格部分を専用に設計し、図面化・部品試作を行う。
- 3. 公道走行可能な規格に準拠した乗り物となるよう設計する。
- 4. アクティブシニアの方が日常の足として、買い物や趣味のための移動に最適なものとなるよう設計する。
- 5. 転倒リスクを少なくするよう設計する。

● 地元産品を生かした「地産地消」

● 地元産品を生かした「地産地消」

● 地元産品を生かした「地産地消」

● 地元産品を生かした「地産地消」